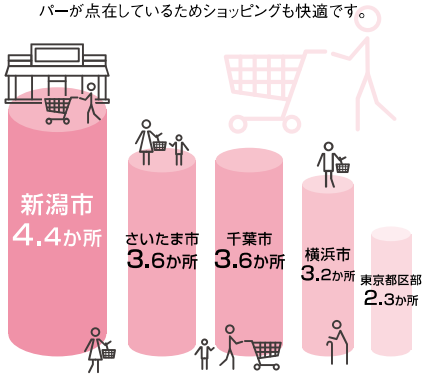
新潟暮らしを比べてみよう!

買い物環境
（人口10万人当たり大型小売店舗数）

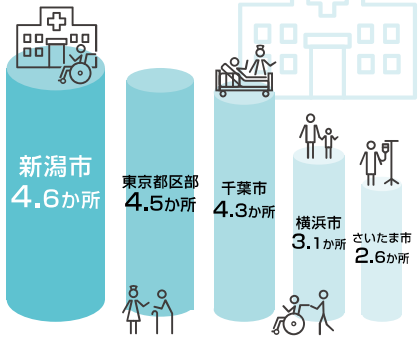
中心部には商業施設が集積し、郊外にはスーパーが点在しているためショッピングも快適です。



出典：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」（平成27年）

医療環境
（人口10万人当たり一般病院数）

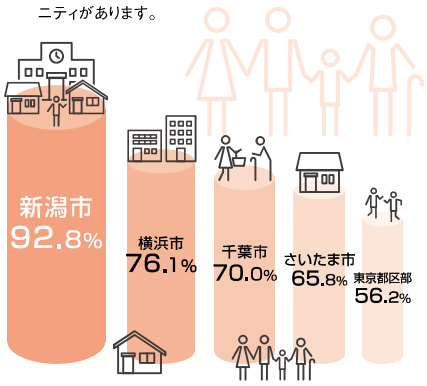
多くの病院があり、安心して受診できます。また、ドクターカーを配置するなど救急体制も整っています。



出典：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」（平成27年）

地域コミュニティ
（自治会加入率）

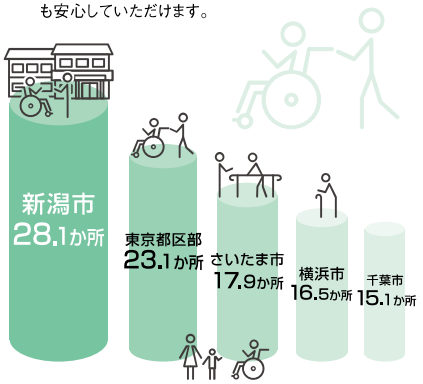
自治会加入率が高いので、しっかりした地域コミュニティがあります。



出典：新潟市「指定都市地域振興主管者連絡会議配布資料」（平成27年）
世田谷区「世田谷区調べ」（平成25年）

介護環境
（高齢者人口10万人当たり介護老人福祉施設数）

いざという時の備えも万全。ご家族のみなさまからも安心していただけます。



出典：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」（平成27年）

表紙ランキング出典：㈱宝島社「田舎暮しの本」（2017年2月号）

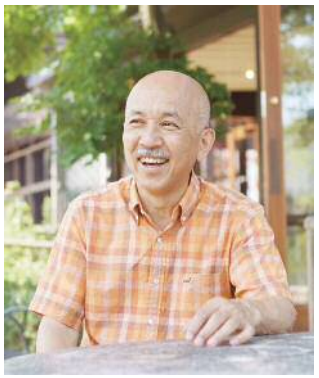
新潟市 地域・魅力創造部 新潟暮らし奨励課
〒951-8550　新潟市中央区学校町通1-602-1
TEL 025-226-2149　E-mail kurashi@city.niigata.lg.jp

新潟市移住・定住情報サイト
「HAPPYターン」はこちら

2017年版
「住みたい田舎」
ベストランキング
北陸エリア1位
（シニア世代）

ゆとりの中で、やりたいことができる。

新潟暮らし



新　潟　市

暮らしやすいまち 新潟市

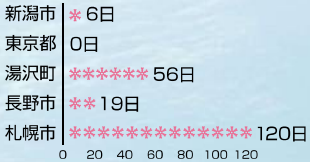
80万市民が活躍する都市と豊かな自然環境が共存するまち

新潟市は本州日本海側唯一の政令指定都市として、商業施設や高度医療施設、港湾・空港といった都市機能が集積しています。市街地を一歩踏み出せば、潟、川、海などの多様な水辺空間や広大で美しい田園地帯が広がる、都市の利便性と豊かな自然環境を兼ね備えた都市です。

四季の移り変わりがはっきりしていて過ごしやすいまち

「雪国」のイメージが強い新潟ですが、県内全域が豪雪地帯というわけではありません。山間部などでは3～4メートル積もることもありますが、日本海沿岸の平野部に広がる新潟市では、雪は降りますがあまり積もりません。また、4月から10月までの期間では、日照時間は東京を上回り快適に過ごせます。

■年間降雪日数(10cm以上)の比較



出典：気象庁(平成27年8月～平成28年7月)

湊町の歴史が培った文化が息づき豊かな自然に育まれた多様な食材に恵まれたまち

近世から日本有数の湊町として発展し、おもてなしの精神と料亭料理、近郷の農家の郷土料理といった多様な食文化が根付いています。日本海の豊富な海産物や、信濃川、阿賀野川が生み出した肥沃な大地から採れる農産物など、質の高い多様な食材に恵まれていることも大きな魅力です。

コミュニティが支えた新潟移住

フリーランス IoT・組込機器開発コンサルティング、エンジニア
菊地 優基さん(55) 中央区在住
from 東京都江東区 2017年

～2016年 新潟に関心
東京生活への違和感と新潟移住への想いが膨らむ。

2016年12月～ コミュニティに参加
新潟コミュニティに繋がりができた。

2017年 移住の準備
月1回程来県し、移住準備。コミュニティの人に支えられた。

2017年3月 新潟に移住!

コミュニティの中で暮らす

移住をする中でポイントになったのがコミュニティの存在です。私が移住できたのは「ミチシルベ」(新潟市移住者応援有志の会)や「シーポイント」(コワーキングスペース)といった移住者や面白い人のコミュニティがあったから。交流会やイベントにも参加しながら、移住の準備を進めました。繋がりや拠り所は何をするにおいても大切なこと。その中で助け合うことができ、ビジネスも生まれています。

美しい自然を楽しめる幸せ

新潟の気候は夏は夏らしく、冬は冬らしい。季節ごとにはっきりと変化し「毎日が綺麗」だと感じています。家の裏の海で釣った魚をご飯のおかずにしたり、海を見ながら仕事をしたり。美しい自然をのびのびと楽しめる暮らしに幸せを感じています。

子どもにのびのびとした暮らしを

東京ではマンションの高層階に暮らし、電車には時刻表を見なくても不自由なく乗ることができる生活。子ども達が草や虫に触れることもなく「私が家族と暮らしたい環境ではない」と思いました。自然にも触れて、のびのびと暮らせる場があることも知ってほしいと、新潟移住を決意しました。

やりたいことに挑戦できる場が新潟にあった

(株)欧州ぶどう栽培研究所
カーブドッチワイナリー
柴本 博さん(64) 西区在住
from 神奈川県鎌倉市 2011年

2010年 秋
カーブドッチへの転職が決まる。

2010年 秋～2011年1月
引越しの準備。

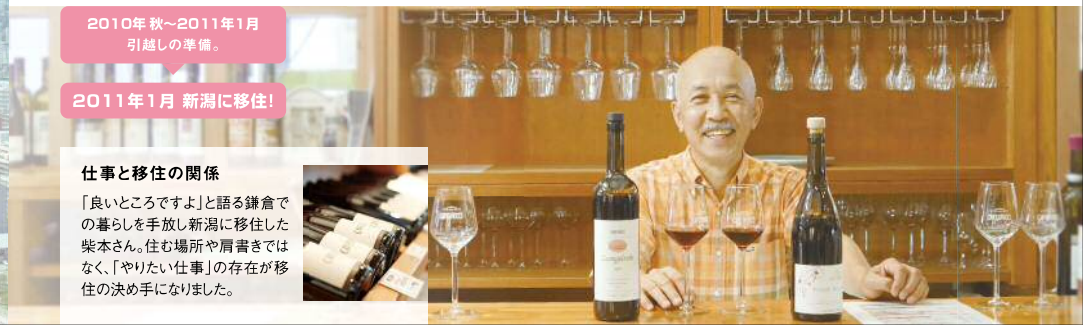
2011年1月 新潟に移住!

憧れの場が新潟にあった

新潟に来る前は鎌倉でワインショップを経営し、ワインや輸入雑貨の販売をしていました。ワイナリー立ち上げ時にも携わっていたカーブドッチは私の憧れでした。ぶどう畑、醸造、販売までワインに関わる全てがここにはある。仕事、そしてワインに携わることを、ここでできればそれで満足。そんな心持ちで、カーブドッチのある新潟に移住することを決意しました。

都会では味わえない喜びも

新潟は「土」に憧れを持つ人には良い環境だと思います。都会ではなかなか住めない庭付きの戸建ての家なので、野菜や花を育てることにも意欲が湧きますし、初めて収穫した野菜の味は本当に感動的でした。これからも、仕事や暮らしのスタンスを変えずに、家族みんなが元気で過ごせればと思っています。



仕事と移住の関係

「良いところですよ」と語る鎌倉での暮らしを手放し新潟に移住した柴本さん。住む場所や肩書きではなく、「やりたい仕事」の存在が移住の決め手になりました。